

道内初の取り組み 3年目に

電話帳と市民便利帳の合冊版贈呈式

4月23日(水)、市役所で『電話帳と市民便利帳の合冊版贈呈式』が行われました。

市は道内初の取り組みとして、平成24年からNTTタウンページ(株)との協働で、行政情報や暮らしに役立つ情報を掲載した『のぼりべつ市民便利帳』と電話帳『タウンページ』と八ローページ室蘭地方版の合冊版を発行しています。

合冊版の制作は今年で3回目。制作費は、NTTタウンページ(株)が負担して、約2万7千600部を発行しました。5月中に市内全世帯・事業所に配布されたほか、市役所と各支所の転入手続き窓口で配布しています。

市民便利帳では、市のイベントや歴史などのほか、宮城県白石市・神奈川県海老名市との『トライアングル交流』について紹介し、両市を身近に感じられる内容としています。



▲贈呈式で完成した合冊版を披露



▲完成した冊子

4 / 23

ボランティアで まちの美化

春の観光道路春のクリーン作戦

4月24日(木)、千歳町・登別温泉町の道路で『春の観光道路春のクリーン作戦』(登別観光協会主催)が行われました。

同作戦は観光ホスピタリティ運動の一環として行われ、観光事業者や市職員など約300人が市を訪れる観光客に気持ちよく滞在してもらうために、沿道のごみを拾いしました。

この日は、可燃ごみ640キログラム・不燃ごみ330キログラムのほか、家電製品や廃タイヤなどが収集されました。

4 / 24



▲沿道のごみを拾うクリーン作戦の参加者



▲熱心に耳を傾ける参加者

今年は上手に できるかな

家庭菜園講習会

4月24日(木)、市民会館で『家庭菜園講習会』(市主催)が開催されました。

講師を務める胆振農業改良普及センター普及指導員が、野菜作りの基礎知識や上手な作り方を説明し、参加者はおいしい野菜を作ろうと、真剣な表情でメモを取っていました。参加者の米澤カツ子さんは「毎年なかなかうまく育ちません。今年は成功させたいので、プロからコツを教えてください」と参加しました。とても勉強になりましたと笑顔で話してくれました。

4 / 24



▲キッチンやソファなどが備えられた共用スペース

市内2カ所目の特別養護老人ホームがオープン

特別養護老人ホーム「わかくさ」開所

4月28日(月)、市内2カ所目となる特別養護老人ホーム『わかくさ』の竣工式と開所式が若草町の同施設で行われました。

この施設は、日常生活に常時介助が必要であり、家庭での生活が困難な要介護1〜5の方が入居する施設で、『登別市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画』に基づき、社会福祉法人友愛会が建設したものです。

全室が個室で、定員は100人。各部屋に洗面設備、共用設備として各階にキッチンや冷蔵庫などが備えられ、5月から入居が始まっています。

4/28



▲植物についての説明を聞く参加者

キウシト湿原の魅力に触れる

ミズバショウ観察会

5月3日(土)〜5日(月)、キウシト湿原で『ミズバショウ観察会』(NPO法人キウシト湿原・登別主催)が開催され、3日間で計94人が参加しました。

この時期は1週間ごとに異なる花が咲き、湿原の魅力を何度も感じるすることができます。

ガイドの話に熱心に耳を傾けていた近藤純子さんは、「このような観察会があることを最近知り、何度か参加していますが、そのたびに新しい発見があり、とても楽しいです」と観察会の魅力を話してくれました。

5/3~5

生きる力を身に付ける

通学合宿 みんなで学ぶ『子ども村』

5月13日(火)〜17日(土)、ふおれすと鉱山で『通学合宿 みんなで学ぶ子ども村』(市主催)が開催され、青葉・富岸・若草・鷺別各小学校5・6年生の児童48人が、4泊5日の合宿に臨みました。

この事業は、子どもたちが共同生活をしながら学校に通うことで自主性や協調性を養うことを目的に、平成21年から実施しています。

子どもたちは日中、学校へ通い、夕方から地域ボランティア・学生ボランティアと共に学習活動、自然体験、食事作りなどに取り組みました。

5/13~17



▲ドッジボールで交流を深める子どもたち